

第5回 香川県輸血 WEB 研修会 参加者各位

平素より大変お世話になっております。

参加者アンケートからのご意見・ご質問につきまして、八木先生の方からご回答頂きました。

参考にさせていただければ幸いです。

研修会資料につきましては、参加者限定で登録されたメールアドレス宛に 3/24 に送付させて頂いておりますが、受信できていない方がいらっしゃいましたらご連絡下さい。よろしくお願いたします。

ご意見

症例①の設問 3 必要な情報として最終輸血年月日の確認と輸血製剤の抗原確認が必要かと。「輸血歴 あり」はひっかけかと思いました。

回答

ご指摘ありがとうございます。

ご質問

ダラツマブ投与患者の症例があったと思うのですが、その際に、製剤を DDT 処理してから患者血清とクロスマッチを実施してから投与と教えていただいたのですが、当院で、ちょうど、ダラツマブ投与後の患者への輸血があり、3/3 入院時の不規則抗体スクリーニング陰性で、3/10 輸血依頼がありクロスマッチで不適合となり、3/10 の血清で再度スクリーニング実施し、陽性。確認すると、前日にダラツマブの投与がありました。パネルセルでは特異性みられず、輸血歴なしのため、3/3 の血清でクロスマッチを実施し、適合のため主治医に説明し、投与となりました。この場合も、やはり、製剤 DDT 処理してから当日の血清でクロスマッチすべきだったでしょうか。ご教授いただくと幸いです。

回答

初回検査時から DARA 投与後のクロスマッチ実施までに明らかに輸血歴が無いことが確認できるのであれば問題ないかと考えます。(輸血以外による不規則抗体の増加は考えにくいことから) また 妊娠歴・輸血歴が明らかに無ければ一週間と言わずもっと長期でも問題ないかと理論上は考えますが、施設によっては、この場合期限を設けていないところもあるようです。しかし、いろいろな条件により有効期限が変わるのは運用上困難なので 患者の輸血歴・妊娠歴問わず 1 週間とか 3 日とか設定されていると考えます。本来であれば直前の患者の検体が一番望ましいと考えます。